

ふじさき

Vol.51
2022

社協だより

Welfare-Fujisaki

令和4年5月1日発行

編集・発行

社会福祉法人 藤崎町社会福祉協議会
青森県南津軽郡藤崎町大字常盤字富田70の1
(藤崎町常盤老人福祉センター内)

☎ 0172-65-2056

ファックス 0172-69-5262

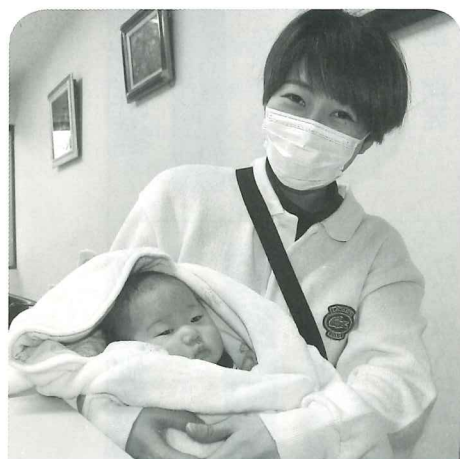
mail info@fujisakishakyo.or.jp

【ホームページ】

www.fujisakishakyo.or.jp/

お誕生
おめでとうございます皆さまから寄せられた共同募金の一部で、
赤ちゃんの紙おむつを支給しています。

—出産祝い事業—

満1歳に満たないお子さんを養育する保護者で、藤崎町に住所が
あり、居住している方が対象です
紙オムツ2袋とおしりナップを支給していますいぶき
諏訪 伊吹ちゃん(木挽町)

石岡 なぎちゃん(富柳)

きょうや
野呂 梗矢ちゃん(伝馬)りあ
松山 凜桜ちゃん(みつや)

令和4年3月31日現在で、53名が申請しております。

◇ 今回の内容 ◇

出産祝い事業……………P 1
令和4年度藤崎町社会福祉協議会事業計画……………P 2
令和4年度藤崎町社会福祉協議会予算……………P 3
令和4年度一般会員加入のお願い……………P 4

有償ボランティア『担い手さん』募集……………P 5
地域サロン活動をはじめてみませんか……………P 6
西豊田温泉利用140万人達成……………P 6
善意の寄付……………P 6
藤崎町一斉クリーンロード作戦……………P 6

令和4年度藤崎町社会福祉協議会予算 《301,955,000円》

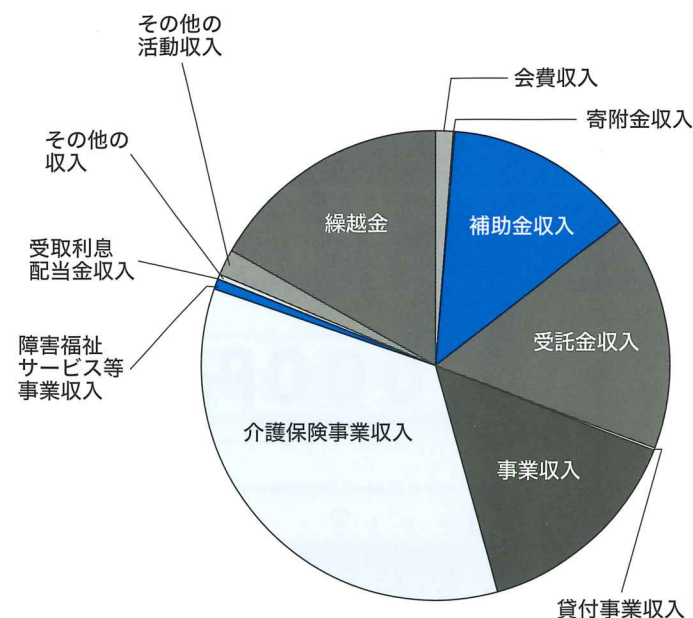
令和4年度予算並びに事業計画が、令和4年3月22日に開催された理事会の同意を経て、令和4年3月30日に開催された評議員会で承認されました。

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予 算 額
会費収入	3,626,000
寄附金収入	300,000
補助金収入	39,865,000
受託金収入	48,993,000
貸付事業収入	490,000
事業収入	44,840,000
介護保険事業収入	104,309,000
障害福祉サービス等事業収入	2,179,000
受取利息配当金収入	20,000
その他の収入	999,000
その他の活動収入	5,410,000
繰越金	50,924,000
合 計	301,955,000

収入 301,955,000円

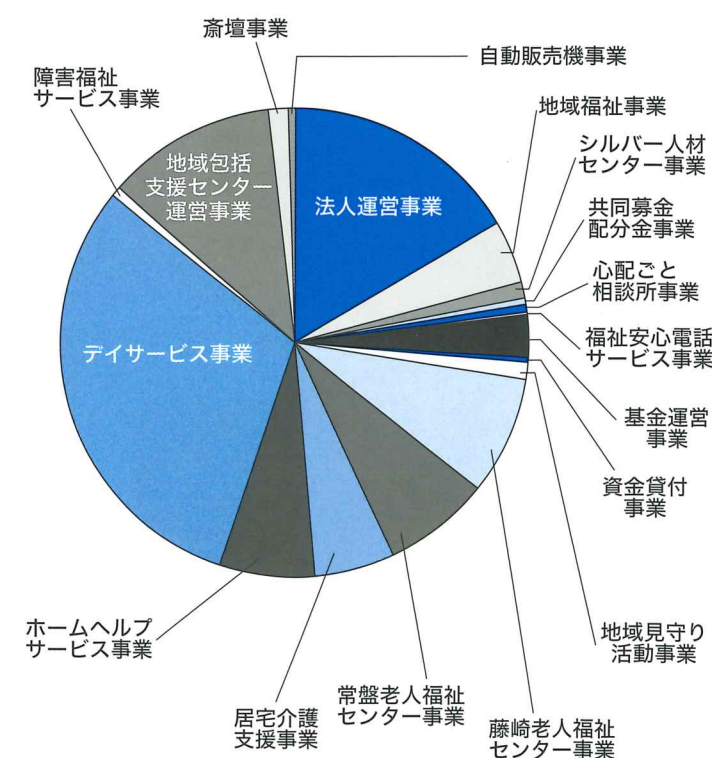


【支出の部】事業別内訳

(単位:円)

区 分	予 算 額
法人運営事業	53,825,000
地域福祉事業	14,106,000
シルバー人材センター事業	3,644,000
共同募金配分金事業	1,412,000
心配ごと相談所事業	1,764,000
福祉安心電話サービス事業	508,000
基金運営事業	9,495,000
資金貸付事業	1,125,000
地域見守り活動事業	3,830,000
藤崎老人福祉センター事業	26,542,000
常盤老人福祉センター事業	23,914,000
居宅介護支援事業	18,080,000
ホームヘルプサービス事業	21,386,000
デイサービス事業	100,080,000
障害福祉サービス事業	2,179,000
地域包括支援センター運営事業	38,017,000
斎壇事業	4,472,000
自動販売機事業	1,638,000
内部取引額	▲ 24,062,000
合 計	301,955,000

支出 301,955,000円



令和4年度 事業計画 (抜粋)

【重点項目】

1. コロナ禍における生活相談と資金貸付体制の強化
2. コロナ禍における要介護者の見守り活動の強化
3. コロナ禍における安心して利用できる介護保険事業の強化



高齢者の経験などを活かして、就労を通じて生きがいを促進します。

シルバー人材センター事業



一人暮らし高齢者ふれあい昼食会の開催
感染対策を図りながら、参加者相互並びに地域ボランティアなどの交流や余暇活動の充実に努めます。

一人暮らし高齢者ふれあい昼食会の開催

地域見守り活動事業
関係機関やボランティアと連携し、高齢者が地域で孤立しないように見守り活動の強化に努めます。

地域見守り活動事業

I 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進



いきいきふれあいサロン事業
地域の高齢者や住民ボランティアが集い、交流を通して生きがいづくりや仲間づくりの輪を広げるとともに、要介護状態になることを予防します。

いきいきふれあいサロン事業

生活支援体制整備事業
住み慣れた地域の中で、つながりや生きがいを持ちながら生活ができるように、住民や関係機関などが助け合い活動の体制づくりを推進します。

生活支援体制整備事業

II 地域福祉サービスの推進

III 福祉教育・ボランティア活動の推進
小・中学校をボランティア活動推進校に指定し、児童生徒の福祉への理解と関心を高め、心豊かな人材の育成を目的に、各校で福祉活動に取り組みます。

ボランティア活動推進校の推進

III 福祉教育・ボランティア活動の推進



災害ボランティアネットワーク構築
大規模災害時に、社協としての役割を果たし、必要な事業を継続できるよう計画を策定します。

災害ボランティアネットワーク構築

V 社協基盤の充実・強化



赤い羽根共同募金運動への協力
複合的な問題を抱える生活困窮世帯を支援するため、関係機関などとの連携を図ります。

生活困窮者等に対する支援

生活福祉資金貸付事業
低所得世帯などに対して、経済的自立を目的に資金貸付を行います。

生活福祉資金貸付事業

IV 福祉情報の提供・総合相談・生活支援機能の充実

高齢者の在宅生活を支援する 『有償ボランティア』を募集しています

高齢者が安心して生活できるよう、ゴミ出しや簡単な家事支援など、日常の「ちょっとした困りごと」をお手伝いする有償ボランティア『担い手さん』を募集しています。

- ◇対象者 藤崎町に在住し、生活支援の担い手として活動意欲のある方（年齢は問いません）
- ◇活動内容 高齢者宅を訪問し、1回30分程度の活動（掃除・洗濯・買い物代行・ゴミ出し・話し相手）などを行います。
- ◇活動費 1回の活動につき500円を支給いたします。
- ◇資格 専門職資格は必要ありません。
※活動を始める前に、事業内容や心構えなどを学ぶ講座を受講していただきます。
- お問い合わせは、藤崎町社会福祉協議会まで（Tel 65-2056）



ボランティア活動に関心のある方
ボランティア活動を始めてみたい方はお気軽にお問い合わせください。

地域で『サロン活動』をはじめませんか！

◇サロン活動とは

歩いて行ける場所（地区集会所など）に集い、交流やふれあいを通して「生きがい、仲間、健康」づくり、閉じこもり防止などを目的とした活動を定期的に開催していただきます。

◇どんなことをすればいいの？

地域住民ボランティアスタッフが一緒に考え、みんなで楽しめる内容を企画しましょう。

例えば・・・

お茶会やおしゃべり、食事会、健康体操、手芸
軽スポーツ、カラオケ、囲碁将棋など
地域の子供たちと交流会を行うのも楽しいですよ。



◇開催回数は

月1回の開催が基本ですが、農閑期や冬期間だけの開催でも大丈夫です。

◇開催場所は？

参加者が歩いて行ける範囲にある集会所など

◇運営は？スタッフ（ボランティア）は？

地域住民みんなで協力して運営していただくことになります。
地域で活動している団体などにも協力をお願いしてみましょう。



◇運営補助金が交付されます。詳しくは藤崎町社会福祉協議会まで

令和4年度 藤崎町社会福祉協議会 一般会員加入のお願い

藤崎町社会福祉協議会（社協）の基本理念である『誰もが安心して暮らすことができる福祉の町づくり』を実現するために、補助金や受託金、共同募金配分金の他に、住民の皆さまや企業などからいただく会員会費を財源に福祉事業を実施しています。

本年度も、本会の趣旨並びに地域の福祉事業推進にご理解いただき、一般会員加入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

◎一般会員（一世帯）

1,000円(年額)



社協会員とは・・・？

社会福祉に理解と関心を持ち、「社協を支援する人（サポーター）」として地域福祉活動を支えてくださる方々です。

会員加入は強制ですか・・・？

強制ではありませんが、社協事業の趣旨にご賛同いただき、ご加入いただければ幸いです。



「ふれあい昼食会」調理ボランティアの皆さん



「藤崎中学校 福祉体験学習」（ボランティア活動事業）



いきいきふれあいサロン事業（徳下地区）



福祉安心電話サービス事業

町民の善意が車イスとなって 福祉活動に役立てられています

プルタブ
930kg

令和4年3月28日(月)、藤崎町ボランティア連絡協議会幸田会長から神社協会長に車イス3台が寄贈されました。

藤崎町ボランティア連絡協議会では、平成18年3月に車イス基金を設立し、町民や団体から寄せられたプルタブを換金し、車イス購入資金として積み立てています。

今回で2回目となりましたが、幸田会長からは「町民の皆様の協力があって、車イスを寄贈することができました。困っている



人のために活用してほしいです。」と述べました。

神社協会長からは、「大変ありがたく思います。車イスを必要とする町民への貸出し用として、大事に使わせていただきます。」とお礼を述べました。

西豊田温泉利用者 140万人達成

令和4年3月29日(火)、成田良三さん、ヨシコさん夫妻(矢沢)が西豊田温泉140万人目の利用者となりました。

毎日、夫婦で西豊田温泉を利用しており、当日もいつものように二人で来所したところ、「おめでとうございします。と声をかけられビックリしました。」と話していました。

4月11日(月)、神社協会長が入浴券などの記念品を贈呈し、「これからもう元気に夫婦仲良く温泉を利用してください。」と感謝の言葉を述べました。



みんなでつくる きれいな藤崎町に

— 藤崎町ボランティア連絡協議会 —

4月17日(日)、晴天のもと藤崎町一斉クリーンロード作戦が実施され、町内会や老人クラブ、婦人会、子ども会など多くの方々が、道路や公園などのゴミ拾いに協力していただきました。

空き缶やペットボトル、ビニール類が多く、拾い集めたゴミの総重量は約1.6tになりました。

各町内で集められたゴミの回収には、藤崎町と藤崎町建設協会の協力を得てトラックを派遣していただき、町スポーツ協会、町職員組合、町社協職員厚生会に回収ボランティアとしてご協力していただきました。



皆さまからの「善意」ありがとうございます

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンでは、本会を応援していただき、ありがとうございます。

皆さまから寄せられたイエローレシートから、本会施設を快適に利用していただくための清掃用品などを購入させていただきました。

